

# 学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 1月号

令和7年 1月7日

校長 楠山 小百合



## 新年を迎えて

～勇気のかぎで未来の扉を開こう～

温かな「初日」が穏やかな湘南の海を照らし、令和7（2025）年が始まりました。砂浜は昨年にも増して人出が多く、家族で初日の出を見たという子もたくさんいたのではないのでしょうか。

今年の干支は「巳」。正確には「乙巳（きのとみ）」です。乙（きのと）は、十干の2番目で、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。また巳（み・へび）は、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。そのため、乙巳（きのとみ）の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると言われているそうです。へびが脱皮するように、新しい自分に生まれ変わり、心も体も一回り大きく成長して、幸せな未来をつかむ年にしたいですね。子どもたち一人ひとりには、何か一つでも今年の目標をもち、達成できるように励み成長する一年にしてほしいと思います。



さて、年の初め、家族はもちろん様々な方々と新年の挨拶を交わす場面が多くあったのではないかと思います。また、どこかへでかける中で、さまざまな社会のルールやマナーにふれる機会もまた多かったのではないのでしょうか。挨拶や規範意識はこれまでの経験や学習によって学んだことをもとに、正否や善悪の価値判断として身につけていくものと言われています。

未来の扉を開く子どもたちには、自分の存在とともに相手の存在を尊重できるようになってほしい。学校生活やさまざまな活動がより楽しくできるように、そして、お互いが豊かに生きるために何が大切なことなのか考えられるようになってほしいと思います。学期末を迎え、進級や進学を前にして、学校だけでなく子育てにおけるそれぞれの立場で役割を改めて意識し、保護者や地域の方々と共に考え、一緒に取り組んでいきたいと思っています。

- ①新しい年の目標を立てて、自分自身の頑張ることや役割を考えよう
- ②何が正しいのか自分の力で判断し、日々の生活や学習を見つめ直そう
- ③みんなが気持ちよく安全・安心に過ごすためのルールやマナーを大切にしよう
- ④子どもを取り巻く大人（教師・保護者・地域の方々）が、望ましい教育環境を築く一員としての役割と責任を認識し、協力して子どもを育もう

保護者・地域の皆様には、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力をいただけますよう、本年もどうぞよろしくお願いたします。

### ☆1月22日(水)に『しょう油しぼり』を行います☆

5月から取り組んでいる汐小しょう油づくりが完成を迎えます。1月22日（水）みんなの広場で、もろみを絞って醤油にします。午前中、仲よし級の子どもたちを中心に絞り師の方々と作業を行います。絞りたての生醤油の味は格別です!!

是非、汐小しょう油がどんな味に仕上がったかを味わいにお越しください。



大切に育ててきたもろみ



麻袋に入れて、重ねていきます



この魔法の木箱からしょう油が出てきます